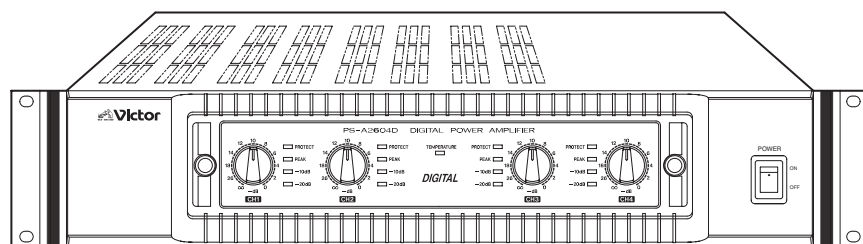
デジタルパワーアンプ

型名 PS-A2604D

取扱説明書

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

LST0745-001B

特長

省電力、エコ設計

PS-A2604D はクラス D 方式で電力増幅を行い、高効率スイッチング電源を採用したパワーアンプです。

定格出力（8Ω）時、80%以上の高効率、省電力・エコ設計を実現しました。

省スペース・ハイパワーの実現

総出力 1040W のハイパワーながら、EIA 2U、質量 8.1kg と省スペースかつ軽量化を実現しました。

ファンレス構造

D 級増幅回路とスイッチング電源の採用によって、ハイパワーながら自然空冷を実現し、ファンを排除しました。

ファンのメンテナンスが必要なく、騒音を発しません。

プロテクトカバー付属

アッテネーターの誤操作を防ぐプロテクトカバーがついています。

入力並列接続可能

キャノンタイプ (XLR-3-31 相当）と φ6.3 複式フォンジャック入力端子を装備しており、入力の並列接続が可能です。

「壊れない、壊さない」安心運用を実現

業務用として保護回路も強化しています。

温度保護回路	：本機の内部温度を監視し、温度によって警告の表示や出力を遮断。温度上昇による破壊を防ぎます。
過電流保護回路	：過負荷･出力短絡などによるにオーバードライブを防ぎます。
DC 電圧出力保護回路	：アンプ出力からの DC 電圧を検出し、出力を遮断。スピーカーの破壊を防ぎます。
ミューティング回路	：電源スイッチ ON-OFF 時のポップノイズを防ぎます。

3 ポイントのシグナルインジケーターを装備

動作状態が一目で監視できる SIGNAL（2 ポイント）と PEAK インジケーターを採用しています。

ラックマウント・棚置き対応

EIA ラックマウント、棚置きの両方に対応しています。

着脱可能な EIA マウント金具を装備しています。

内部温度の上昇を知らせる警告表示を装備

本機内部の温度が、異常な高温になっていることを警告する TEMPERATURE 表示を装備しています。

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

ご注意　：操作上の注意が書かれています。

メモ　：機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

☞　：参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

もくじ

はじめに

接続（設置業者さま向け）

設置（設置業者さま向け）

その他

安全上のご注意

警告

万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、又はブレーカーを切ってください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードの継ぎ足しは火災や感電の原因となりますので、おやめください。
セット内部に触れることは危険なうえ故障の原因となります。内部の点検・調整は販売店へお任せください。
この機器には内部の温度上昇を防ぐために、セットの上面、底面、側面に通風孔があけてありますのでふさがないでください内部に熱がこもり火災の原因になることがあります。 また、ラックに組み込む場合は、通風のため本機 1 台に対して 1 U 以上のブランクスペースをとるようにしてください。
通風孔からクリップなどの異物を挿入したり、水などの液体をこぼさないでください。内部回路がショートし火災の原因になることがあります。
本機は日本国内専用です。 必ず商用電源 AC100V 50Hz/60Hz で使用してください。
本機の設置は、技術を必要とします。 設置工事は必ず、販売店または専門の工事店に依頼してください。

注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらずに、かならずプラグを持って抜いてください。
製品に悪い影響を与えますので、ほこりや振動の多い所には置かないでください。
傾いた所や弱々しい台など、不安定な場所には置かないでください。万一、落ちたり倒れたりすると大変危険です。
棚置きで使用する場合、必ずフットを取り付け、側面と上面 5 ㎝以上、裏側 10cm 以上の隙間を取り、冷却のための空気の流通を良くするようにしてください。
湿気の多い場所または油煙や湯気が当るような場所は避けてください。故障の原因となります。
窓をしめきった自動車の中や直射日光のあたる所、暖房器具の近くに放置しないでください。 変形、変色、故障することがあります。
本機の上に“ 飲み物 ”や“ 花びん ”などを、置かないでください。
設置後は、必ずポリ袋を回収してください。

正しくお使いいただくためのご注意

本機は、非常用放送設備としては使用できません。

保管および使用場所

● 次のような場所に置かない

誤動作や故障の原因となります。

- 許容動作温度（0 ℃～ 40 ℃) 範囲外の暑いところや寒いところ
- 許容動作湿度（90 %RH 以下）範囲外の湿気の多いところ
- 変圧器やモーターなど強い磁気を発生するところ
- トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
- ほこりや砂の多いところ
- 振動の激しいところ
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
- 厨房など蒸気や油分の多いところ
- 放射線や X 線、および腐食性ガスの発生するところ

取り扱いについて

● 本機の放熱が不十分になると故障の原因となります。本機周辺の通風を妨げないようにしてください。

● 本機の上に水の入ったもの（花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）を置かない

機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。

● 内部に物を入れない

通風孔などから、金属類や燃えやすいものなどを入れると火災や感電の原因となります。

● オプション機器の組み込みや接続には、技術を必要とする場合があります。

オプション機器の組み込みや接続を誤ると、感電や火災の原因となることがあります。必ずお買い上げ販売店にご依頼ください。

● 電力線と入力信号線はできるだけ離して接続する

電源コードやスピーカーケーブルなどの電力線とマイクケーブルや、赤外線ワイヤレスシステムの受光センサー用同軸ケーブルなどの入力信号線を近づけると、機器の動作が不安定になり、動作不良の原因となります。

● 過大入力による連続使用は、破損の原因となります。頻繁に PEAK ランプが点灯する状態で使用しないでください。

● 運用状態によって、本体ケースが熱くなることがあります。運用中や電源を切った直後はさわらないでください。

移動について

● 移動するときは接続コード類をはずす

移動するときは、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

お手入れについて

● お手入れするときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

● 本機は柔らかい布でふいてください。シンナーやベンジンでふくと、表面がとけたり、くもったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。

● 殺虫剤など揮発性の薬品をかけたり、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤（かそざい）の働きによって変質したり、塗装がはげるなどの原因となります。

省エネについて

● 長時間使用しないときは、安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源コードについて

● 電源コードの上に重いものを乗せたり、コードを本機の下敷きにしない。
コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。

その他

● 落雷などにより電源電圧が変動した場合、システム保護のため電源電圧が安定するまで操作できないことがあります。

● 本機および本機に接続したケーブルを強い電波や磁気の発生するところ（例、ラジオ、テレビ、変圧器、モニターなどの近く）で使用すると、本機の動作に影響が出ることがあります。

ミューティング動作について

● 電源を入れてから３秒～５秒間は音が出ませんが､これはミューティング動作のためで、故障ではありません。

電源の投入について

● すべての結線が終了してから本機の電源を入れてください。接続コードの抜き差しは電源を切ってから行なってください。

● 周辺機器と組み合わせて使用する場合、本機の電源は最後に入れてください。ノイズなどによるスピーカーの破損を防止できます。

設置場所について

● 本機の上に音声信号レベルの小さい機器を設置すると、雑音が出ることがあります。CD プレーヤー、テープデッキ、グラフィックイコライザーなどはできるだけ離して設置してください。

配線について

● マイクケーブルやライン信号ケーブル、赤外線ワイヤレスシステムの受光センサー用同軸ケーブルを電源コードやスピーカーケーブルと一緒に配線しないでください。受信障害やノイズの原因となります。10cm 以上は離して配線してください。

バランスケーブルの使用について

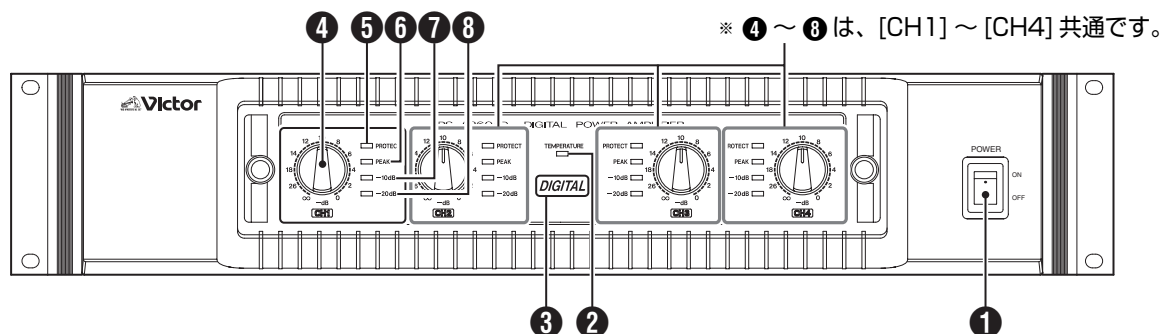
● アンバランス（不平衡）タイプのケーブルを５ｍ以上延長すると、電源からの誘導雑音（ブーンという音）や調光ノイズなどの影響を受けやすくなります。ケーブルを延長する場合は、バランス（平衡）タイプのケーブルを使用してください。

接続について

● スピーカー出力端子への接続は、電源を切ってから行なってください。本機のスピーカー出力端子には、無信号時も電圧が出力されています。

● 過負荷は故障の原因となります。
必ず、指定のインピーダンス（4Ω ～ 16Ω）になるようにシステムを設計してください。

各部の名称とはたらき

フロントパネル

❶ [POWER] 電源スイッチ

電源 ON/OFF スイッチです。

電源を入れると、約 1 秒で [DIGITAL] 電源表示ランプ ❸、[TEMPERATURE] 表示ランプ (赤)❷、[PROTECT] 表示ランプ (赤)❺ が点灯します。その後 3 秒～ 5 秒後に [TEMPERATURE] 表示ランプ (赤)❷、[PROTECT] 表示ランプ (赤)❺ は消灯し、運用可能な状態になります。

❷ [TEMPERATURE] 温度警告表示ランプ

本機内部が高温になると点灯し、出力信号レベルが制御されます。過大な信号が連続して入力する場合、本機内部が高温になり点灯します。点灯したときは、入力アッテネーター ❹ を左にまわし出力を下げてください。内部の温度がさがると消灯します。

メモ :

- 温度警告表示ランプ点灯後、継続して運用すると保護回路が作動し、出力が遮断されます。([PROTECT] 表示ランプ (赤) ❺ が点灯）内部の温度が下がると自動的に解除されます。

ご注意 :

- 温度警告表示ランプが点灯した状態で継続使用しないでください。本機の寿命が低下する恐れがあります。

❸ [DIGITAL] 電源表示ランプ

電源を入れると、約1秒で “DIGITAL” の文字が青色に点灯します。

❹ 入力アッテネーター

音量を設定するときに使用します。[PEAK] シグナルインジケーター（赤)❻ が点灯しないように、音量を設定し、使用してください。

クリックポジション付きです。

メモ :

- スピーカーを接続しないチャンネルは、入力アッテネーターを必ず “ ∞ ” の位置（絞りきり）に設定してください。

❺ [PROTECT] プロテクト表示ランプ（赤)

保護回路が動作して出力が遮断された場合に点灯します。
(ミューティング動作）電源を入れると点灯、3 秒～ 5 秒後に消灯し動作状態に入ります。

メモ :

- DC 電圧出力保護回路が動作した場合、DC 電圧の出力がなくなると自動的に復帰します。
- 連続過大出力、過負荷などの異常使用状態で温度保護回路が動作した場合、安全のため自動復帰しません。
- すべてのチャンネルで温度保護回路が動作した場合、安全のため電源が OFF になり、全動作が停止します。
- 過電流保護回路が動作した場合、自動復帰しません。
  異常を取り除いてから、再度電源を投入してください。
- 消灯しない場合は、何らかの異常が考えられます。電源を切って使用を中止し、お買い上げの販売店または最寄のサービス窓口にご相談ください。
- 電源を切ると、[PROTECT] 表示ランプ (赤)❺ が一度点灯し、点滅しながら消えますが故障ではありません。

ご注意 :

- 各保護回路は、本機に異常が発生した場合や異常な運用状態の場合に動作し、本機を保護するものです。保護回路が動作し続けている異常状態での継続使用は、機器が破損する恐れがあるのでおやめください。

❻ [PEAK] シグナルインジケーター（赤)

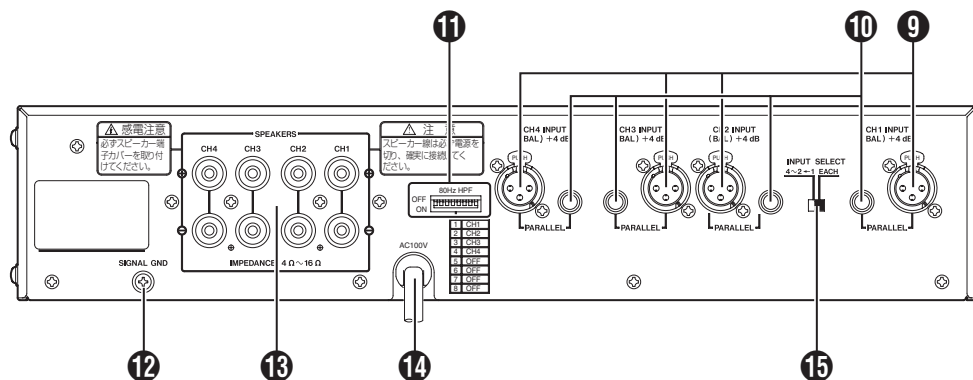
各チャンネルの信号レベルを表示します。
出力が定格出力付近になると赤色に点灯します。インジケーターが点灯しないよう、レベルを下げて使用してください。

❼ [− 10dB] シグナルインジケーター（緑)

各チャンネルの信号レベルを表示します。
出力信号レベルが定格出力の− 10dB 以上になると緑色に点灯します。

❽ [− 20dB] シグナルインジケーター（緑)

各チャンネルの信号レベルを表示します。
出力信号レベルが定格出力の− 20dB 以上になると緑色に点灯します。

リアパネル

❾ [CH1 ～ 4　INPUT(BAL)+4dB]
XLR タイプコネクタ (XLR-3-31 相当) 入力端子

XLR タイプコネクタ (XLR-3-31 相当) を使って接続します。

(CH1 ～ CH 4：平衡＋ 4dB 20k Ω)

❿ [CH1 ～ 4　INPUT(BAL)+4dB]
ϕ6.3 複式フォンジャック入力端子

ϕ6.3 複式フォンジャックを使って接続します。

(CH1 ～ CH 4：平衡＋ 4dB 20k Ω)

メモ :

- ❾、❿ の入力端子は各チャンネルごとに並列接続になっています。他のパワーアンプとの入力並列接続端子として使用できます。(☞8 ページ [接続のしかた])

ご注意 :

- 接続は電源を切ってから行なってください。ノイズなどによって、スピーカーが破損する恐れがあります。

⓫ 設定スイッチ

ハイインピーダンストランスユニット（別売）を使用し、ハイインピーダンススピーカーをドライブする場合、“ON” に設定します。
(☞9 ページ [ハイインピーダンススピーカーを使用する場合])

⓬ [SIGNAL GND] グランド端子

オーディオミキサーなどを接続した場合に、雑音の低減をはかるためのものです。

ご注意 :

- 安全アースではありません。

⓭ [SPEAKERS CH1 ～ CH4]
スピーカー出力端子

音声信号の出力端子です。スピーカーまたはハイ・インピーダンストランスと接続します。

接続できるスピーカーのインピーダンスは 4Ω～16 Ω です。

メモ :

- 接続時、スピーカー端子カバーをはずします。接続完了後、感電防止のため、スピーカー端子カバーを必ず取り付けてください。(☞ 8 ページ)

ご注意 :

- 出力回路の並列接続はできません。
- 4Ω～16 Ω インピーダンス以外のスピーカーを接続しないでください。火災・故障の原因となることがあります。また、本来の性能が得られません。
- スピーカー出力端子の⊖側はアース電位ではありません。アースには接続しないでください。
- ⊖ どうしを接続しないでください。
- ⊖ 端子を他のチャンネルと共用しないでください。
- 接続は、電源を切ってから行なってください。スピーカー出力端子には、無信号時も電圧が出力されています。
- 電力線と入力信号線はできるだけ離して接続してください。電源コードやスピーカーケーブルなどの電力線とマイクケーブルや、赤外線ワイヤレスシステムの受光センサー用同軸ケーブルなどの入力信号線を近づけると、機器の動作が不安定になり、動作不良の原因となります。

⓮ 電源コード

⓯ [INPUT SELECT　4 ～ 2 ← 1/EACH]
入力チャンネル切換スイッチ

入力信号を各チャンネルに出力するときは “EACH” に、CH1 の入力信号をすべてのチャンネルに出力するときは “4 ～ 2 ← 1” に切り換えてください。

接続のしかた

接続ケーブルについて

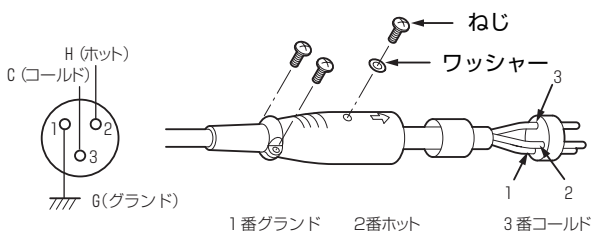
入力コネクターの配線は次のとおりになります。

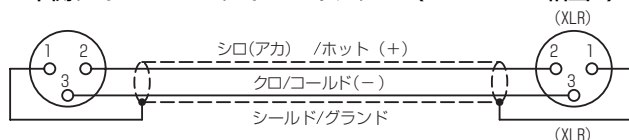
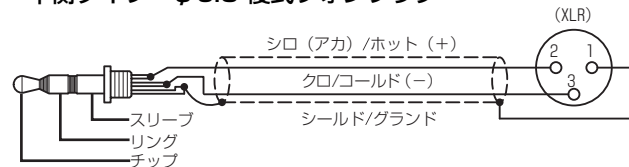
● XLR タイプコネクター（XLR-3-31 相当 ）

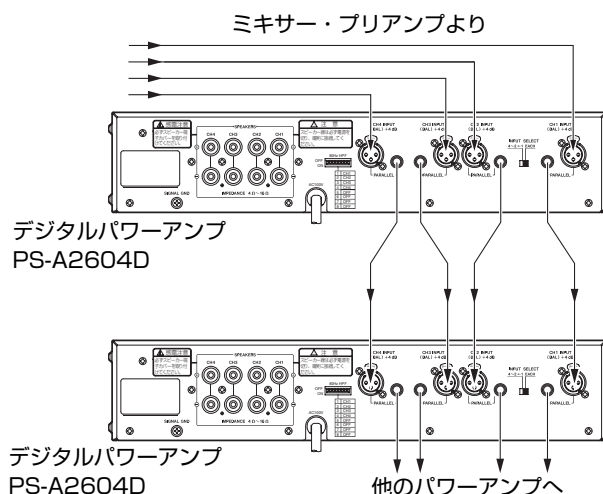
1 番	：	グランド
2 番	：	ホット
3 番	：	コールド

● φ6.3 複式フォンプラグ

スリーブ	：	グランド
チップ	：	ホット
リング	：	コールド

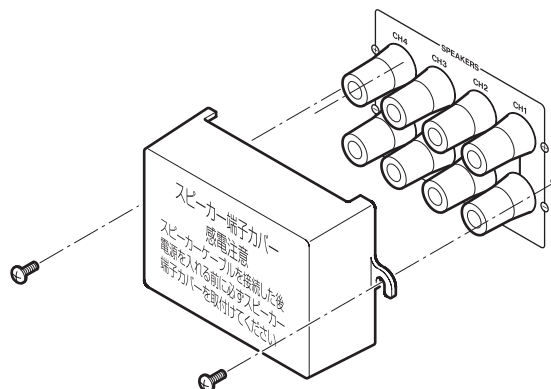
入力端子の配線

● 接続ケーブルを製作する場合は、下図を参考にしてください。

平衡タイプ：XLR タイプコネクター（XLR-3-31 相当 ）

平衡タイプ：φ6.3 複式フォンプラグ

入力の並列接続について

接続可能台数は最大 9 台です。
(ミキサー出力インピーダンス 2 kΩ 時)

ご注意：

- [INPUT SELECT　4 ～ 2 ← 1/EACH] スイッチを “4 ～ 2 ← 1” に設定した場合も、接続チャンネルの合計は、9 台以内で使用してください。
- “4 ～ 2 ← 1” に設定した場合､入力は “CH1” のみ有効です。接続は “CH1” を使用してください。

スピーカー端子カバーの取り扱いについて

スピーカーケーブルの接続時、スピーカー端子カバーをはずします。

ご注意：

- 感電防止のため、必ずスピーカー端子カバーをつけて使用してください。
- バナナプラグを使用すると、スピーカー端子カバーが取り付けられなくなります。感電防止のため、バナナプラグは使用しないでください。
- スピーカー出力端子のゆるみにご注意ください。
- スピーカー出力端子を必要以上にゆるめないでください。端子がはずれて紛失する恐れがあります。
- 本機のスピーカー出力端子は、無信号時でも DC25V が出力されています。
- スピーカーは､必ずスピーカー出力端子の ⊕ 端子と ⊖ 端子間で接続してください。故障の原因となります。

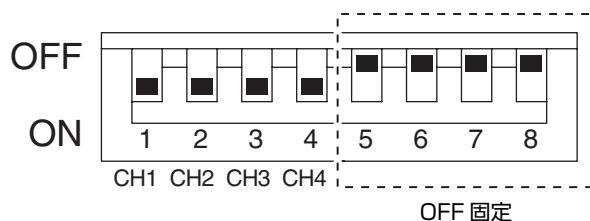
ハイインピーダンススピーカーを使用する場合

ハイインピーダンスピーカーを使用する場合、本機にハイインピーダンストランスユニット（PS-TU20）を接続し、接続するチャンネルのHPF（ハイパスフィルタ）を“ON”に設定してください。

■ HPF（ハイパスフィルタ）の設定

設置スイッチの該当するチャンネルを“ON”に設定します。

ご注意：

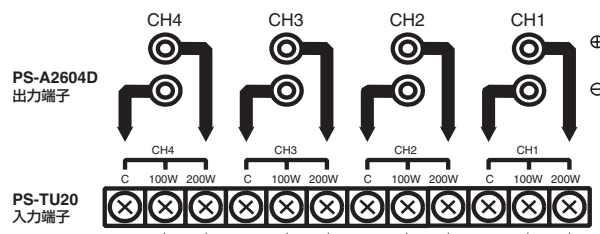
- 本機にハイインピーダンストランスユニットを接続して使用する場合は、必ず該当チャンネルのスイッチを“ON”にしてください。設定を行わないと過負荷状態になり、故障の原因となります。
  詳しくは、お買い上げの販売店または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

スイッチ番号	スイッチ名称	説明
1	CH1 HPF スイッチ	CH1 にハイインピーダンストランスユニットを接続する場合、“ON” にします。
2	CH2 HPF スイッチ	CH2 にハイインピーダンストランスユニットを接続する場合、“ON” にします。
3	CH3 HPF スイッチ	CH3 にハイインピーダンストランスユニットを接続する場合、“ON” にします。
4	CH4 HPF スイッチ	CH4 にハイインピーダンストランスユニットを接続する場合、“ON” にします。

ご注意：

- 5~8 は未使用です。絶対に操作しないでください。誤動作の原因となります。

■ ハイインピーダンストランスユニットの接続

本機をハイインピーダンストランスユニット (PS-TU20) に接続する場合、下記のように接続します。

- 本機のスピーカー出力端子 ⊕ 端子 ➔PS-TU20 の [200W] 端子
- 本機のスピーカー出力端子 ⊖ 端子 ➔PS-TU20 の [C] 端子

メモ：

- PS-TU20 は工場出荷時に、2CH 分のトランスが組み込まれています。3CH 以上で使用する場合、ハイインピーダンストランス（PS-T200：別売）を必要数 PS-TU20 に組み込む必要があります。

ご注意：

- スピーカー出力端子への接続は、電源を切ってから行なってください。本機のスピーカー出力端子は無信号時でも電圧が出力されています。
- PS-TU20 の出力が定格（100Vrms）を超えないよう、本機の入力アッテネーターで出力レベルを調節してください。
- 本機の [PEAK] インジケーターが点灯しない範囲で使用してください。

ラックへの組み込みについて

設置上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産の損害を未然に防止するために本文をお読みいただき、次の条件で設置をお願いします。

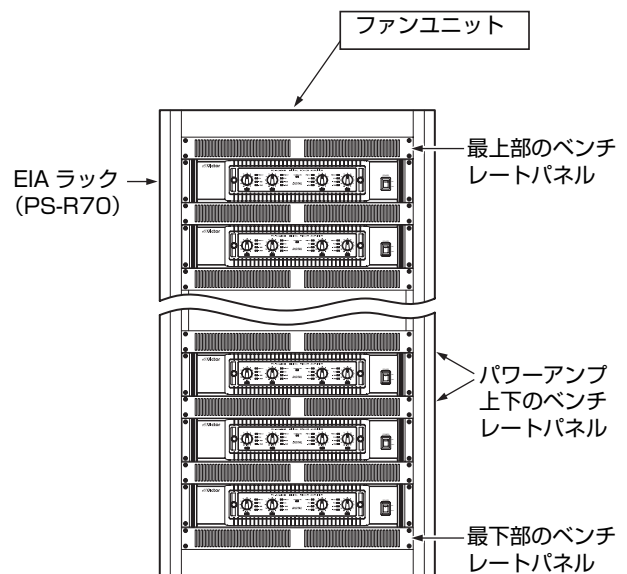
ご注意：
- 本機の放熱を妨げると故障の原因となることがあります。
- 重ね置きは避けてください。
- ラックを使用する場合は、必ず上下にベンチレーションを入れてください。
- 密閉したラックでは使用しないでください。

- 本機には、内部温度上昇を防ぐために、セットの上面、底面、側面に通風孔があけてあります。通風孔をふさがないでください。
  内部に熱がこもり故障の原因になることがあります。

■ ラックで使用する場合

- ラックに組み込む場合、通風のため本機１台に対して１Ｕ（約 44mm）以上のベンチレーションスペースを上下に取ってください。
- ３台以上で使用する場合、ファンユニットを取り付けてください。
- EIA ラック（PS-R541、PS-R70）などに組み込む場合、放熱効果をよくするためにパワーアンプの上下にベンチレートパネル（PS-RU01V）を取り付けてください。また、ラックの最上部と最下部にもベンチレートパネルを取り付けてください。

■ 棚置きで使用する場合

- 棚置きで使用する場合、必ずフットを取り付け、側面と上面 5cm 以上、裏側 10cm 以上の隙間を取り、放熱のために空気の流通をよくするようにしてください。
- 重ねて置くときは、フットを付けた状態で、２台までにしてください。２台重ねる場合は、上面の隙間を 5cm 以上あけてください。

ご注意：
- EIA ラック（PS-R541 または PS-R70）を使用される場合、充分な放熱効果を得るためにファンユニット（PS-RU40 または PS-R413B）をラック上面内側に必ず取り付けてください。
  取付方法の詳細につきましては、PS-RU40 または PS-R413B の [取扱説明書] をご覧ください。
- 本機をパワーコントローラー(PS-P32-B/H) に接続する場合、AC アウトレット CN-P1 および CN-P2、CN-P3、CN-P4 へそれぞれ１台のみ、合計 2 台まで接続できます。
- システムラック (PS-R30) に本機を組み込む場合、パワーコントローラー (PS-P32-B/H) には、本機を含め各ユニットの消費電力の合計が 800W を越えないように接続してください。この場合、パワーコントローラー(PS-P32-B/H)１台に対して、本機が接続できるは 1 台になります。

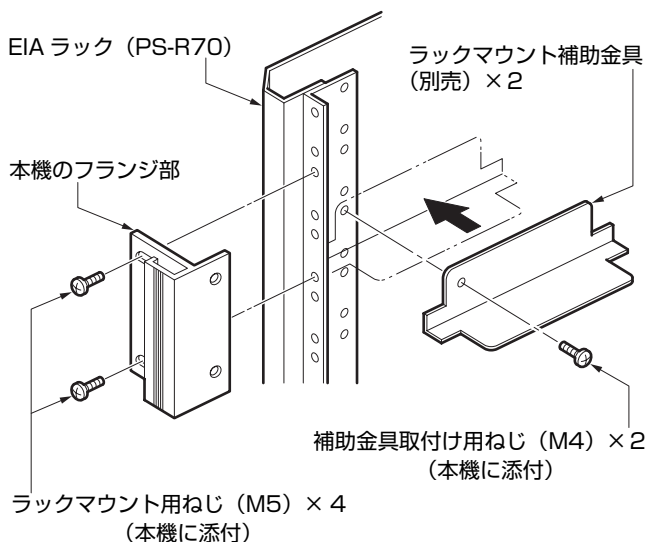
[参考] ファンユニット取り付け台数のめやす
- 本機４台に対して、ファンユニット（PS-R413B）を１台。
- 本機９台に対して、ファンユニット（PS-RU40）を１台。

ラックマウント補助金具を使用して取り付ける

ラックマウント補助金具（別売）を使用して、本機を EIA ラック（PS-R70 ／ PS-R541 ／ PS-R40 ／ PS-R30）に組み込む場合、ラックマウント補助金具（別売）を添付のスクリュー (M4) で取り付けてからラックへ組み込みます。

ご注意：

- ラックマウント補助金具（別売）の購入については、お買い上げの販売店または最寄のサービス窓口にご相談ください。

  ラックマウント補助金具（品番：SS410739-002）

ご注意：

- 本機のフランジ部前側の手掛けは、ラックマウントされている本機を引き出すための簡易用の手掛けです。本機の運搬など、他の目的で使用しないでください。

フットの取り付けについて

本機を直接カウンターや棚に置いて使用する場合、底面にフット（添付）を取り付けてください。

フットはフット取付け用ねじ（添付）で取り付けます。

ご注意：

- フット取付け用ねじは、必ず添付のものを使用してください。（M3 × 15mm）

ブロックダイヤグラム

CH1 INPUT
4dBu/20kΩ
BALANCE
CH2 INPUT
4dBu/20kΩ
BALANCE
CH3 INPUT
4dBu/20kΩ
BALANCE
CH4 INPUT
4dBu/20kΩ
BALANCE
CH1
VR
CH2
VR
CH3
VR
CH4
VR
1→4
EACH
ADC
AD_RESET
SDIN_1
SDIN_2
MCLK
24.576MHz
FPGA
電源電圧監視
DSP&PWM
SCLK
LRCK
MCLK
SDIN_1
SDIN_2
SDA
SCL
RESET
PDN
MUTE
BKND_ERR
VALID
PWM_P_1
PWM_M_1
PWM_P_2
PWM_M_2
PWM_P_3
PWM_M_3
PWM_P_4
PWM_M_4
80Hz HPF 設定スイッチ 1～4
（5～8未使用）
12345678
電源周囲温度検出
DC検出
POWER IC
LPF
RESET
SHUTDOWN
OVERTEMPERATURE
WARNING
出力リレー& PROTECT LED CH1～4
TEMPERATURE LED
OTW&電源周囲温度検出時点灯
TEMPERATURE
LED
PROTECT DRIVER
CH1～4
LED
DRIVER
PROTECT
PEAK
-10dB
-20dB
CH1
CH2
CH3
CH4
スピーカー出力

保証とアフターサービス

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望ににより有料で修理いたします。

アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明な点はお買い上げ販売店または、最寄のサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

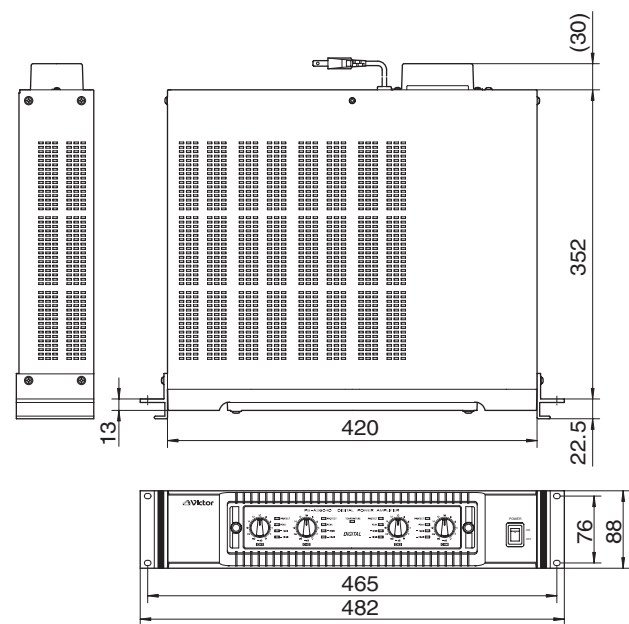
お買い上げ販売店、またはサービス窓口に次のことをお知らせください。

項目	内容
品名	：デジタルパワーアンプ
品番	：PS-A2604D
お買い上げ日	：
故障の状況	：故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	：
お名前	：
電話番号	：

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

仕様

増幅方式	：D 級増幅方式
定格出力	：150 W×4（1 k Hz、8 Ω） 260 W×4（1 k Hz、4 Ω）
全高調波歪率	：0.3 %以下 （定格出力− 10 dB 時、22 Hz~22 kHz BPF ON）
周波数特性	：20 Hz ～ 20 kHz（8 Ω、1 W 出力時）
クロストーク	：71 dB 以上（IHF-A）
SN 比	：101 dB 以上 （IHF-A 入力短絡）
入力感度	：+4 dB（0 dB=0.775 Vrms）
最大電圧利得	：29.0 dB（8 Ω）
入力インピーダンス	：20 kΩ（電子平衡）
電源	：AC 100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力	：440 W（電気用品安全法）
質量	：8.1 kg
仕上げ	：フロントパネル：黒色 ABS 樹脂 トップカバー ：黒色半艶塗装

■ 添付物・付属品

取扱説明書.. 1
安全上のご注意.................................... 1
保証書.. 1
ビクターサービス窓口案内.......................... 1
ラックマウント用ねじ（M5）........................ 4
補助金具取付け用ねじ（M4）........................ 2
フット.. 4
フット取付け用ねじ（M3）.......................... 4

■ 外形寸法図（単位：mm）

※ 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

PS-A2604D　デジタルパワーアンプ

お客様ご相談センター

0120－2828－17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 (045)450-8950 ［代表］

(045)450-2275

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒192-8620　東京都八王子市石川町2969-2　　電話（042）660-7203

LST0745-001B